

## 空き仮設住宅の有効活用

### 住宅工事関係者に無償貸与



県は沿岸被災地の住宅再建を円滑に進めるため、空き部屋となっている仮設住宅を、民間住宅の工事関係者に無償で貸し出すことを決めました。11月から無償で貸与されるのは、空き部屋となっている宮古市の荷竹農村公園仮設団地6戸と釜石市の鶴住居第5仮設団地28戸の仮設住宅です。沿岸被災地

では工事関係者用の宿泊施設が大幅に不足しています。このため、空いている仮設住宅を利用して



もらうことで、宿舍不足の解消と建設費の削減を見込んでいます。こうした試みは被災3県で初めてです。今後、沿岸6市町で300戸程度の仮設住宅を貸し出す予定です。(写真は宮古・荷竹農村公園仮設団地：10/27 ニュースエコー)

## 盛岡発

### 「いわての学び希望基金」に寄付



地域貢献の一翼にと岩手銀行は協力を得ている三菱UFJニコスとともに、被災地の子もたちのために創設された「いわての学び希望基金」に1500万円を寄付しました。岩手銀行は発行しているクレジットカード「I be One」を震災後に地域貢献カードと位置づけて、利用額の0・1%を寄付しており、3年連続で1000万円以上の寄付となります。岩手銀行の田口頭取は「人づくりは大事なこと。人材教育に役立ててほしい」と話していました。

(10/28 ニュースエコー)

## 大船渡発

### カキのブランド化事業

大船渡湾のカキのブランド化を図り、大船渡の食の魅力を発信しようと設立された生産・加工・販売の連携組織「大船渡6次連携ブランド



開発グループ」は、大手飲料メーカー・キリンググループの助成を受け、商品開発事業に乗り出しました。主な事業内容は「小さいカキが丸ごと1個入ったカキギョーザ」や「カキ豆腐」など、大船渡湾のカキを始めとする海産物を特色ある加工品にして売り出す計画や、湾内を周遊する「カキ尽くし屋形船」の運行です。ブランド開発グループは、今年12月にカキを食べながら大船渡湾を周遊する屋形船の運行をスタートさせ、それと並行して新商品の開発を進める予定です。(10/29 ニュースエコー)



## 宮古発

### さんりく元気ラジオ!

(ワイドステーション内 毎週水曜日放送)

今週はみやこハーバーラジオの箱石文彦さんが、宮古港に寄港する豪華客船について伝えてくれました。11月3日に「ばしふいっくびいなす」が寄港します。そして10日後の11月13日には、より大型の豪華客船「飛鳥II」が寄港します。それぞれ地元中学校のブラスバンドや市内保育園のマーチングバンドの演奏などで迎える事になっています。箱石さんは「宮古港も大型豪華客船の入港ができるまで復興復旧が進んでいます。船旅のお客様にもそのことを実際に目で見てもらい、宮古の良い所をたくさん知ってもらい、またここに来たいと思ってもらえるように市民一同、精一杯もてなしの心で歓迎します。」と話していました。(10/29)



「IBC復興支援室だより」facebookでも発信中  
詳細はIBC公式サイトから <http://www.abc.co.jp/>  
IBC復興支援室事務局 019-623-3122